

ザ・サウンド・オブ・サイレンス
スカボロー・フェア
ミセス・ロビンソン
歌 ■ サイモンとガーファンクル

主題曲

卒業

監督 ■ マイク・ニコルズ
アン・バンクロフト
キャサリン・ロス
ダスティン・ Hoffman

「ベンジ」と叫ぶ
ラストの彼女
あの感激を
あなたの青春に
捧げます



United Artists
Entertainment from
Transamerica Corporation

ユナイテッド映画

アカデミー賞/ゴールデングローブ賞
世界の映画賞を独占

テクニカラー/パナビジョン

THE GRADUATE

ANNE BANCROFT · DUSTIN HOFFMAN · KATHARINE ROSS

ダスティン・ホフマン／キャサリン・ロス／アン・バンクロフト

THE GRADUATE

United Artists ユナイテッド映画
Entertainment from
Transamerica Corporation

大ヒット主題曲

サウンド・オブ・サイレンス／スカボロー・フェア
ミセス・ロビンソン ■サイモンとガーファンクル

卒業

テクニカラー
パナビジョン

この道は二人で行く道
遙か遠くけわしくとも
求めあい愛しあい

走って行こう 幸せのときまで



全世界の映画賞を独占した美しき青春のバイブル……
輝かしいあなたの青春の思い出に大切にしまつて下さい。

私たちは「叫び」の果てに何をみてしまう
のでしょいか。

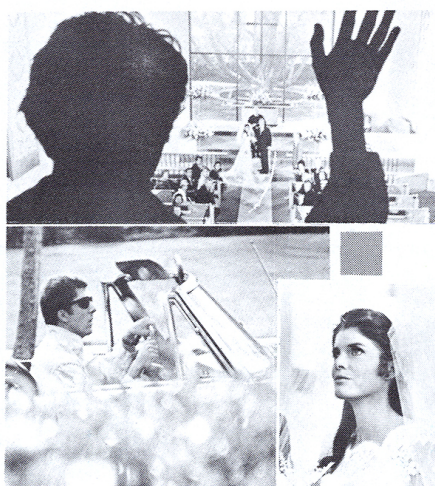
「エレイン!」、若者は自分の今まで生きて
きた全部を己れの声帯にぶち込んで叫ぶので
す。「エレイン!」とまどい、うろたえる参
列者の顔。厳かな筈の結婚式は若者の純なエ
ネルギーでもろくも壊されてしまう。教会:
大きく透明なガラス戸を激しく叩く音こそ若
者の未来の夜明けを告げる鐘だったのかもし
れません。若者の熱い想いはついに教会の十
字架を振り回してしまう。花嫁を奪うための十
字架は実は秩序のみを重んじる大人への楯だ
ったのです。「ベン!」「エレイン!」二人
のふり絞った叫び声が二人の未来を見事に切
りひらいていました。

今でも、熱く私の胸に焼きついている名作
「卒業」のラスト・シーンです。ベンのあの
ような犯罪にも似た鮮やかな行動にすっかり
舌をまいてしまったことも確かです。

この感動を私の前にまざまざと見せ、アッ
と言わせたのがマイク・ニコルズ監督です。
「バージニア・ウルフなんかこわくない」の
演出後二年のことです。青春はどことなく喜
劇的な面を持っています。「喜劇的なおかし
さの中に、人生の一断面が鮮やかに描かれる
(読売新聞)」「ユーモアにサスペンスのワザビ
を効かせる。おとなの味を持っている」(サン
ケイ新聞)この絶賛がアカデミー賞監督賞、
ゴールデン・グローブ賞の作品・監督賞、他
多数の映画賞を独占させたのでした。

この作品の配役の苦勞をニコルズ監督は、
「原作の主要な三人の男女はどれも平凡とは
およそ離れた役柄であり、これほど配役がむ
ずかしかつたことはない」と語っていました
それがベンのダスティン・ホフマンであり、
エレインのキャサリン・ロス、そしてミセス
・ロビンソンのアン・バンクロフトの三人で
す。ホフマンもロスも当時はまだ新人だった
ことはご記憶ですね。二人の新鮮な目をこら
す演技感覚には思わず体をのりださずにはい
られない衝動を覚えたものです。もう一人、
アン・バンクロフト。ベンにセックスのパス
ポートを与え、女の持つ嫌味を出しきって真
に迫っていました。「ホフマンは適役、ロス
は娘らしさがすてがたく、バンクロフトは押
えた演技で難役をこなしている」(毎日新聞)
ということになります。

ラスト・シーンや、スタッフ、キャストを
語って、大事な音楽を忘れていました。「サ
ウンド・オブ・サイレンス」はまさに若者の
心を揺さぶる「沈黙の響き」です。ラストシ
ーンにおおいかぶさるこの曲は若者の純な志
を唱いあげて印象的です。歌はサイモンとガ
ーファンクル。あのメロディ、ハーモニーに
酔ってしまいます。この作品を観て涙し、笑
い、感激した人は数知れません。(かつての
みゆき座ロードショーだけで約三二万七千人)
友人で初めて見る人も多いでしょう。映画
の印象に力を入れすぎて物語紹介を後回しに
してしまいました。



主人公ベンは大学でたてのウブな青年。あ
てもない彼に中年女ロビンソン夫人が情事へ
の誘惑を……。そのうち彼女の娘エレインが
登場。ベンはこの純心な娘にひかれ愛するよ
うになった。夫人のしつこい妨害。エレインは
大学に戻り別の青年と結婚……。ひたむきに
エレインを求めるベン、心の奥底ではベンを捨
て切れないエレイン。そしてエレインの教会での
結婚式の瞬間……。